



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 衛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐藤 将夫 TEL 03(5217)7811
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	600	△4.8	△2	—	△1	—	△317	—
29年3月期第3四半期	630	△35.5	△40	—	△36	—	△40	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △317百万円 (—%) 29年3月期第3四半期 △40百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△189.98	—
29年3月期第3四半期	△24.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	374	73	17.3	38.78
29年3月期	662	386	58.3	231.65

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 64百万円 29年3月期 386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,021	27.0	34	—	34	—	△290	—	△174.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社（社名） イメージ情報システム株式会社
エクストップエスオー株式会社（現株式会社アイデポルテ）
除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	1,780,000株	29年3月期	1,780,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	113,729株	29年3月期	113,629株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	1,669,407株	29年3月期3Q	1,666,371株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、わが国経済における雇用情勢や個人所得環境に改善が見られることから企業のIT投資は堅調に推移しておりますが、利益率の低迷が依然続いております。

このような環境の中、当社はグループの多角化に取り組むため、持株会社への移行を行い、機動的な事業再編や柔軟性の確保ならびに各事業の責任と権限を明確にすることで、当社グループ全体の企業価値の最大化を目指し、平成29年10月2日に新設会社分割を行いイメージ情報システム株式会社を新設し、加えて平成29年10月20日にスポーツ全体のIT化促進を主な事業とするエクストロップエスオー株式会社（現株式会社アイデポルテ）の第三者割当増資を引き受け、子会社化いたしました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間において、開発スキルの向上と外部人材リソースの活用等を実施してまいりましたが、売上高は600,366千円（前年同期比4.8%減）となりました。

利益面におきましては、売上原価率がやや改善し、加えて販売費及び一般管理費の圧縮に努めましたが、営業損失は2,388千円（前年同期は営業損失40,897千円）となりました。経常損失は1,661千円（前年同期は経常損失36,706千円）、株式会社北栄への債権に対して貸倒引当金315,125千円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は317,149千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失40,885千円）となりました。

このような状況において、当社グループは、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等によるプラットフォームビジネスへの構築により、新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は218,231千円（前連結会計年度末比4,434千円減）となりました。これは主に、短期貸付金が23,082千円、受取手形及び売掛金が10,887千円増加しましたが、現金及び預金が34,705千円減少したことによるものです。

固定資産の残高は156,081千円（前連結会計年度末比283,412千円減）となりました。これは主に、株式会社アイデポルテの株式取得により無形固定資産の「のれん」が17,447千円増加しましたが、株式会社北栄への債権に対する貸倒引当金315,158千円の計上により減少いたしました。

これにより総資産の残高は374,313千円（前連結会計年度末比287,846千円減）となりました。

流動負債の残高は114,688千円（前連結会計年度末比16,519千円減）となりました。これは主に、短期借入金が20,001千円減少したことによるものです。

固定負債の残高は186,624千円（前連結会計年度末比41,686千円増）となりました。これは主に、長期借入金が43,882千円増加したことによるものです。

これにより負債の残高は301,312千円（前連結会計年度末比25,167千円増）となりました。

純資産の残高は73,000千円（前連結会計年度末比313,014千円減）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失317,149千円の計上により利益剰余金が減少したこと等によるものです。

なお、当社は、平成29年6月28日開催の第42回定時株主総会において、欠損を補填する目的で資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決されました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金は506,111千円減少し利益剰余金が同額増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、業績の変動は現時点では想定されておらず、平成29年11月14日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示いたしてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,907	78,202
受取手形及び売掛金	86,867	97,755
商品	375	375
仕掛品	447	3,510
貯蔵品	268	384
短期貸付金	—	23,082
その他	23,491	16,825
貸倒引当金	△1,691	△1,903
流動資産合計	222,666	218,231
固定資産		
有形固定資産	21,484	18,645
無形固定資産		
のれん	—	17,447
その他	9,046	8,500
無形固定資産合計	9,046	25,947
投資その他の資産		
投資有価証券	62,329	62,792
長期貸付金	399,375	417,281
長期未収入金	103,895	103,895
その他	36,622	35,937
貸倒引当金	△193,259	△508,417
投資その他の資産合計	408,963	111,488
固定資産合計	439,493	156,081
資産合計	662,160	374,313
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,428	25,672
短期借入金	40,001	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	3,336
未払法人税等	3,324	845
賞与引当金	26,307	9,990
その他	32,145	54,843
流動負債合計	131,207	114,688
固定負債		
長期借入金	—	43,882
退職給付に係る負債	125,108	122,786
その他	19,829	19,955
固定負債合計	144,937	186,624
負債合計	276,145	301,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	519,527	13,415
利益剰余金	△504,755	△319,521
自己株式	△95,810	△96,328
株主資本合計	386,010	64,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△4
その他の包括利益累計額合計	4	△4
非支配株主持分	—	8,388
純資産合計	386,015	73,000
負債純資産合計	662,160	374,313

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	630,797	600,366
売上原価	571,592	514,621
売上総利益	59,204	85,744
販売費及び一般管理費	100,102	88,133
営業損失(△)	△40,897	△2,388
営業外収益		
受取利息及び配当金	965	648
助成金収入	—	965
貸倒引当金戻入額	3,143	—
その他	287	589
営業外収益合計	4,396	2,203
営業外費用		
支払利息	205	371
保険解約損	—	1,002
その他	—	103
営業外費用合計	205	1,476
経常損失(△)	△36,706	△1,661
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	315,125
減損損失	3,549	—
特別損失合計	3,549	315,125
税金等調整前四半期純損失(△)	△40,255	△316,787
法人税、住民税及び事業税	630	607
法人税等合計	630	607
四半期純損失(△)	△40,885	△317,395
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△40,885	△317,149
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	△8
その他の包括利益合計	64	△8
四半期包括利益	△40,821	△317,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,821	△317,157
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△245

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月28日開催の第42回定時株主総会において、欠損を補填する目的で資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決されました。その結果、資本剰余金は506,111千円減少し利益剰余金が同額増加しております。